



No	発表者	テーマ	R6.8発表内容		その後の活動及び現況
			概要	今後取り組みたいこと等	
1	大学生	『推し』に着目した若年層の献血の促進	若年層の献血参加率は年々減少傾向にある。「推し」が献血を勧めたり来てくれたりしたら、若者の献血参加者が増え、献血参加率が上がるのではないかと考えている。	市内で若年層を対象に、献血セミナーを開いたり、私の「推し」である吉本興業の芸人が参加するイベントを実施したりしたい。子ども・若者応援補助金も申請しており、補助金も活用できる。	疾病対策課及び日本赤十字社と協力し、11月に小規模なセミナー、12月に模擬献血を2カ所で開催した。また、3月23日に、あまがさきキューズモールで、吉本興業の芸人を招いた献血イベントを実施した。
2	高校生	AMA.ROCK ～未来への架け橋～	周囲にバンド活動、俳優、舞台監督などを目指している友人が沢山いるが、「誰に相談したらいいか分からない」等の悩みを持っている。私自身がそのような悩みを抱える若者と大人の架け橋になりたい。	尼崎運河を舞台に、地域との交流が深まるような若者主催の音楽イベントを開催したい。行政には、市民まつりでの若者の表現の場や、公共施設利用の際の学生料金の設定などをお願いしたい。	尼崎運河でのイベントは難しかったため、他のイベントについて検討している。また中高生のライブイベントの補助に参加し、若者アーティストとの繋がり作りを行っている。



No	発表者	テーマ	R6.8発表内容		その後の活動及び現況
			概要	今後取り組みたいこと等	
3	高校生	若者のこの先を創る	あまらぶチャレンジ事業ジュニアコースに参加した。良い補助制度であると感じた一方で、現状制度には課題も少なくないと感じ、3つの課題と改善点について提案する。	「若者のこの先を創る」を活動理念に、若い世代が適応できる地域や社会をつくる活動を行っていく。当事業は初めての人が参加しやすい補助事業であるため、みんなに寄り添う補助制度となってほしい。	補助事業を担当する協働推進課と、R7年度のあまらぶチャレンジ事業について意見交換等を行っている。
4	高校生(2名)	Share&Inspire	高校生が課外活動に取り組むきっかけを作りたい。活動を行っている人とそうでない人が出会い、刺激を受け、活動していなかった人も活動に取り組んでみる、そしてそれを発信するという循環を作りたい。	課外活動を行っている高校生を紹介する「高校生図鑑」を作成し、図書館や生涯学習プラザの自習室に、ピールオフ広告をしたい。この取組により、新たな活動に取り組むきっかけを作りたい。	高校生図鑑をInstagram上で発信している。また、ピールオフ広告の実施に向けて企画を進めている。ピールオフ広告の実施場所について、検討・調整中である。



No	発表者	テーマ	R6.8発表内容		その後の活動及び現況
			概要	今後取り組みたいこと等	
5	大学生	空き家問題	<p>空き家には、様々な問題がある。 尼崎市では、空き家を市場に出せば買い手が見つかる可能性があるが、第三者が強制的に売りに出すことは難しく、持ち主への働きかけが大切である。</p>	<p>高齢者向けに、どのように空き家を処理したらいいか、また処理に関する行政の各種支援サービス等を伝えるセミナーを実施したい。 当事者が行動をおこしやすくするための手伝いをしたい。</p>	<p>今回のテーマに関する活動は一旦休止し、現在は、自身と向き合い、将来について考えている。</p>
6	専門学生	How to make	<p>中高生時代、精神的にしんどく様々な悩みを抱えていたが、メイクに出会い少しずつ自信を持ち、前向きになれた。 このきっかけを同じように悩んでいる人に作りたいたいと考えメイクイベントを実施している。</p>	<p>現在、ターゲットとなる人たちにあまり出会えておらず、このイベントを必要な人まで届けていきたい。同じような経験をしている人に出会い、自分で自分を変えられることを実感させてあげたい。</p>	<p>こども相談支援課の支援対象者に対してメイクイベントを実施したほか、琴ノ浦高文化祭出展、市立尼崎高での講演を実施した。また子ども・若者応援補助金を活用して活動紹介パンフレットを作成し市関係部署等に配付した。</p>



No	発表者	テーマ	R6.8発表内容		その後の活動及び現況
			概要	今後取り組みたいこと等	
7	大学生	命を、未来を諦めない	精神疾患は身近な病気なのに周囲に話しづらい人が多い。そして、それを支える人も重要であると考えた。支える人を支える仕組みが必要と考える。	サポートする人をサポートするコミュニティを作り、支える人同士の情報交換の場を作りたい。また、学校等で若者目線で講演等を行うことで、精神疾患の偏見をなくしたい。	日常的に人々の心に寄り添う新しいビジネスモデルを考え中。 メンタルヘルスを身近にするためのイベントの実施や、ニーズ調査の実施について検討している。
8	大学生	定時制高校にもっと大学進学を選択肢を	定時制高校から頑張って大学へ進学したが、進学に当たってはいくつかハードルがあった。 定時制高校の生徒は、あまり大学進学を視野に入れていないため、その選択肢を持てるようにしたい。	進学意欲を生むための情報提供や受験勉強のメンタルサポートをしたい。 行政には、大学受験費用サポートの制度化をお願いしたい。 また高校の授業内の講演や生徒への告知などの取組を実施したい。	2月に琴ノ浦高で、講演会を実施した。 大学受験料の補助については、尼崎市と協議の場を持ち、市からの返答持ち状態。 高校や高校生、他都市へのヒアリング・アンケートを検討している。



No	発表者	テーマ	R6.8発表内容		その後の活動及び現況
			概要	今後取り組みたいこと等	
9	高校生	若者の海外研修機会の創出	<p>デンマークで若者運動をされている方が尼崎市に来て、話をしたことで刺激を受けた。 尼崎市に、若者自身が企画し、若者で計画していく海外研修の予算を用意してほしい。</p>	<p>子ども・若者応援基金の納税キャンペーンを打つ等して、市で必要な資金の予算を用意してほしい。</p>	<p>尼崎市と協議の場を持ち、「新たな制度を作ることは難しいが、今回の提案を受け、既存の補助金の一部拡大を検討している」との回答があった。現在は、改めて自身のやりたいことや想いを整理している。</p>